

令和4年 第7回 教育委員会定例会議事録

招集日時 令和4年7月26日（火曜日）午前10時開会／午前10時45分閉会

招集場所 加賀市民会館2階 第2会議室

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 堀川事務局長、宮永事務局次長、平塚次長兼学校指導課長、小茂出教育庶務課長、上出生涯学習課長、
出淵中央図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、鳶崎文化振興課長、
梶谷教育庶務課企画官、中蔵教育庶務課リーダー

令和4年第7回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 昨日はコミュニティスクールの研修会がありました。わかりやすいお話で良い研修ができたかなと思っていますけれども、聞けば聞くほど課題が多いというか、校長先生の技量が試されるというか、これからしっかりやらないといけないなど改めて思いました。

1学期を振り返ってみますと、いろんな外部の人たちから、学校に何か支援ができないかということの有難いお話をたくさんいただきました。例えば、給食のお米が二等米だったものを一等米にする、その分のお金を今年だけではなく、来年からもずっと給付するということとか、ふるさとの食材に馴染んでいただくということで、甘エビを給食に寄付していただくこともありましたし、LEDの反射たすきを、去年に引き続いて新しい中学1年生全員に寄付して下さって、子ども達の安全を守ってほしいということとか。また先週の土曜日はセミナーハウスあいらすで中学生の意見発表会がありました。ロータリーの方々にご尽力いただいて本当に良い発表会になったかなと思います。あとは相撲大会などいろいろなことをしてくださいました。本当に子ども達の健全育成のために協力したいという方がまちにたくさんいらっしゃるなと思った反面、学校にいと外部のいろんな事業があり、先生方が多忙を極めていて、なんとか整理できないか、なんとか縮小できないかということで、外部の思いと学校の思い、それがなかなかうまくいかなかったところがあるかなと、私は現場にしながら思っているんですが。これを解決するのもコミュニティスクールで、子どもをこういう姿にしたい、そのために地域は、外部団体は、保護者はというようなところで、それぞれが連携してベクトルをひとつにして子どもを育てるということで、このコミュニティスクールは成功すると本当に素晴らしい学校になるなと思いました。加えて、教育大綱でいう Well-being の学校、学校にいろんな人が集って、学校を核としてみんなが幸せになると。これも一緒だと思います。コミュニティスクールで、Well-being の学校が実現できると期待できるのではないかと思います。ハードルが高いところはあるかと思いますが、全員が思いを一つにして、これを乗り越えて素晴らしい学校を作っていきたいと改めて思った次第であります。

それでは議件に入ります。本日審議事項は1件です。議案第28号、教育に関する事務の管理

及び執行状況の点検及び評価報告書（案）について小茂出課長お願いいたします。

- 議案第28号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（案）について
小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 本日は報告書の中身ではなくて、これから意見を聴取する手続きについての説明でしたけれども、今の説明について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。それでは継続審議とすることに了承していただけますでしょうか。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で承認されました。以上で議案事項は終わります。

続いて報告事項に入ります。報告第31号、令和4年度加賀市教育総合支援センター業務評価計画書について左古所長お願いいたします。

- 報告第31号 令和4年度加賀市教育総合支援センター業務評価計画書について
左古所長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 業務評価計画書についてですが、評価の観点と検証の方法についてお尋ねいたします。特に教育開発室の先進研究のところは、誰が評価するのかが明確になっていないので、そこをまず教えていただきたいです。それぞれそれぞれの評価が書いてありまして、例えば教職員研修だったら児童生徒を対象とした振り返りと書いてあります。評価の観点も書いてありますので、それぞれわかるんですが、それがどのような頻度で、年間何回くらいなされるのかということも併せて教えていただきたいと思います。

○山田教育長 左古所長、お願いします。

○左古所長 この先進研究につきましては、3つの研究部が昨年度から2年計画で研究を進めています。昨年度末に一度3つの研究部が各学校に研究成果を配信して、その成果と課題について集約する予定でございました。ただ3つの研究部すべてができたわけではなくて、昨年度の評価のところでももうひとつというような評価でした。今年度ですが、夏休み中にそれぞれの研究部が研究してきた成果をもとに各学校に配信をします。2学期にそれぞれの学校で実践をしていただいて、成果と課題を集約するというかたちで2学期末には集約を考えております。そして今年度の研究の成果を振り返りながら、またさらに3学期に新しく課題と成果としてできたものを配信するというかたちで、検証と配信というかたちで進めていく予定でおります。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 それぞれの課題・具体的な取組についてですが、まず教育開発室の先進研究の中で、多様な他者と協働した探求的な学びとあります。この多様な他者という部分が、少し抽象的過ぎて、ある程度どういったことがあるのか、事例があると有難いというのが1点です。2点目は教育相談のところですが、保護者や学校とより綿密な連携を取りながらとあります。教育相談については難しい部分もあるかと思いますが、保護者と学校とより綿密なという部分で、現状となかなか難しい部分についての打開策を示していただければ有難いと思います。

○山田教育長 左古所長、お願いします。

○左古所長 まず先進研究の多様な他者と協働のところですが、今、令和の日本型学校教育におきまして、個別最適な学習、とにかくひとりでも置いていかない、みんなを連れていくというのが主になっております。ただ個別最適が前面に出てきますと、孤立化してしまいますので、協働的な学びというのはそこについてきます。多種多様なということは、同じ学年のグループももちろんそうですが、異学年グループ、そして学校を取り囲む社会の中で、いろんな関わりがある方と双方向の学習をするという意味の多種多様というふうに考えております。

そして教育相談に関する部分ですが、今言われたように大変難しいところです。保護者の方に、ぜひセンターに顔を出されて子ども達の様子を見ませんかといっても、なかなか時間が作れないというふうにして難しい場合があります。そういう場合は、学校の方で保護者面談を行なう時がありますので、センター職員がそこに同席をさせていただきまして、センターの児童生徒の様子を話したり、保護者の思いをこちらの方が受け止めたり、また学校と三者でどういう支援、対応が必要なのかということをお互いに連絡を取りながら相談をしているところです。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして、報告第32号、令和4年度加賀市グッドマナーキャンペーンの実施について上出課長お願いいたします。

- 報告第32号 令和4年度加賀市グッドマナーキャンペーンの実施について
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして、報告第33号、第74回石川県民スポーツ大会夏季大会について田中課長お願いいたします。

- 報告第33号 第74回石川県民スポーツ大会夏季大会について
田中課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして、報告第34号、「加賀市・台南市友好都市交流記念 第19回九谷焼絵皿イラストコンクール」審査結果について畷崎課長お願いいたします。

- 報告第34号 「加賀市・台南市友好都市交流記念 第19回九谷焼絵皿イラストコンクール」審査結果について
畷崎課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

以上で報告事項は終わります。続いてその他案件が5件ありますので、順番にお願いいたします。橋立小中学校の義務教育学校化の進捗状況について宮永次長お願いいたします。

● 橋立小中学校の義務教育学校化の進捗状況について

宮永次長 説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 今、継続審議ということで伺いました。当初の予定では来年度から発足するというお話だったと思います。いつ頃を目途に考えていらっしゃるのかがもしわかれば、やはり十分な地元の方の共通理解が必要だと思しますので、慌ててやる必要はないと思えますけれども、そのことを踏まえた上で、今後の見通しがわかりましたら教えていただきたいと思えます。

○山田教育長 宮永次長、お願いします。

○宮永次長 当初の計画では来年度からということで目指していたところではございまして、早ければ1年後ということですが、やはり地域の皆様、保護者の皆様、そして子ども達の気持ちというものを確認しながら、しっかりと合意形成というところで、時間の方はなるべく早くというところはあるんですが、地域の皆様のご理解をいただいた時点ということなので、はっきりとした時期というのは申し上げられないところですが、早い段階でということは今後目指してまいりたいというふうには考えております。

○篠原委員 くれぐれも地元の方とのコンセンサスを十分にとっていただくということが最低条件になってくると思しますので、いろんなご苦労があるかと思えますがよろしく願いいたします。そしてこのことは新しい教育課程ということで、単に橋立小中学校の義務教育学校だけではなくて、加賀市全体の中で、どのように良さが広まっていくのかということも併せて啓発をしていただけないかなと思っております。よろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして、図書館学習室の利用開始について出淵館長お願いいたします。

● 図書館学習室の利用開始について

出淵館長 説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 私も図書館に伺ったときに、学習室が再開されたとお聞きして大変嬉しく思っていました。ただし今、またコロナの第7波が蔓延しておりますので、そのことも十分にご配慮をいただきながら、例えばどのような状況になったらまた止めるのかとか、子ども達が今どれくらいの状況で学習室を利用しているのかということがわかれば教えていただけないかと思えます。

○山田教育長 出淵館長、お願いします。

○出淵館長 21日に解放してから今までの状況ですけれども、当初、満員になったらどうしようかといういろいろ想定をしていたんですが、ほぼ定員通りで、長机に1人というかたちで、人数的には多くはないんですが、きちんと名前を書いてもらって入室退室をこちらで管理をして、席札を渡してその席についてもらうという対策をとっておりまして、よほどの状況になれば再考しなければと思えますが、今の状況ですと丸一日いる学生さんは少なく、大抵は午前だけとか午後だけですので、それほど今は心配な状況ではないのかなと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 学習室について、もちろん入り口での検温と手の消毒はあると思いますが、学習室にいわゆる空気清浄機等々のなにかしら機械は入っているのでしょうか。

○山田教育長 出淵館長、お願いします。

○出淵館長 学習室に空気清浄機は入っていないんですけど、必ず開館閉館時には消毒をいたしまして、中央図書館では学習室の扉を開けて密室にならないようにしております。山中図書館も2階のホールなので、その辺は特別な機械は用意していないんですけども、対策はとっているところでございます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして、東和中学校改築改修工事の安全祈願祭及び起工式について小茂出課長お願いいたします。

● 東和中学校改築改修工事の安全祈願祭及び起工式について

小茂出課長 説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして、石川縣市町教育委員会セミナーの参加スケジュールについて小茂出課長お願いいたします。

● 石川縣市町教育委員会セミナーの参加スケジュールについて

小茂出課長 説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会日程について小茂出課長お願いいたします。

● 次回教育委員会定例会日程について

小茂出課長 説明

○山田教育長 それでは8月19日金曜日、午前9時からということで予定に入れておいてください。以上で議件は終わりましたが、この際、委員の皆さんから何かございませんか。

○篠原委員 教育総合支援センター長にお伺いします。3月議会で川下議員がご質問なさっていたんですが、現状、建物が大丈夫なのかと。私も以前に何度か定例会でこのお話をしたことがあるかと思いますが、その点についてまずお教えいただきたいです。

○山田教育長 左古所長、お願いします。

○左古所長 教育総合支援センターは築50年経っております。建物自体は耐震工事は受けておりません。今その状態というのが前提なんですけど、私が赴任して3年目になりますけれども、昨年度、トイレの排水ポンプが動かなくなりました。教育総合支援センターの修繕費は年間5万円で、5万円ではさすがに直すことはできなくて、教育庶務課の方をお願いをして捻りだしていただいて、トイレの排水ポンプは修繕させていただきました。今年度ですが、1ヵ月くら

い前にコンセントから煙が出ました。業者に来ていただいてキャップをはずしたら中の配線が焦げていました。それと併せて今、建物の外壁工事のために足場を組んで、それは外壁の塗装が剥がれてきていて、結構分厚いので、落ちてくると重さがあるで大変危険なので工事をしております。それも修繕費はセンターにはありませんので、教育庶務課の方と相談してお願いをしているところです。今、継ぎ接ぎだらけの修繕というかたちになっております。最後に、センター内の建物の壁、それから柱等にはひび割れが数十カ所、1階から3階までだいたいすべて入っております。この前、珠洲で大きな地震がありましたけれども、あの地震に耐えられるかどうかということも心配しているところです。屋根の方も雨漏りをしておりまして、本棚にはつい最近まで青シートをかけて濡れないように工夫をしていたところです。以上です。

○篠原委員 今、現状をお聞きしました。非常に怖いというか、危ないというか危機感を感じております。壁や柱にひびが入っているということは、それは構造的なひび割れで、そのようなことになってきたら、これはもう子ども達や、そこを利用していらっしゃる各種団体の方々、あるいは職員の皆さんの安全安心が確保されないんじゃないかと思えます。今、外壁の工事をしているということで、それは非常に怖いことなので、もしそれが外部の方に当たったら本当に大変なことです。このままにしておいていいのかというのが、私自身は非常に疑問に感じております。3月議会でも川下議員さんが代替施設として三木小学校を具体的にあげていらっしゃいました。今まで閉校になっている黒崎小学校、緑丘小学校、三木小学校、菅谷小学校は民間施設に売却されましたが、やはり使わないと本当に施設というのは痛んでくると思えます。一刻も早く代替施設への移転が必要なんじゃないかと私は強く感じております。もし三木小学校ということになれば、地元の方との十分な共通理解のもとに行なっていただきたいですし、今の状態を見ていると、本当に危機的な状況だと感じておりますので、皆様のご尽力で速やかに代替施設への移転を進めていただけないかなと、強くお願いをしたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 昨日のコミュニティスクールの研修を受けまして、講師の方がずっとおっしゃっていたのが、校長のビジョンとおっしゃっていました。校長先生についてはずっと同じ学校にいらっしゃるわけではないので、ビジョンの策定等について、もちろん教育大綱がベースにはあると思うんですが、一応加賀市としてある程度のビジョンのベースがあって、各地域ごとのものがあればいいのかなと思うんですが、その辺なにかしら現状でお考えがあるのか教えていただきたいです。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 コミュニティスクールにつきましては、講師の先生のお話の中にもありましたが、加賀市としてどんなコミュニティスクールを作るのか、地域とともにどんな学校作りを目指すのか、まずそこが大事だというお話がありました。今年度モデル校を2校作っているわけですが、そのモデル校での実践事例等も踏まえながら、また教育委員会内でも協議しながら、加賀市として地域とともにこんな学校作りを目指しますということをお示しして、教育委員会としてのビジョン、そこは教育長が冒頭にお話しした通り、教育大綱との兼ね合いというものもあります。あるいは教育振興基本計画を受けたものでなければいけないと思っているんですが、そこと一体となったコミュニティスクールの目標を立て、それを受けて各学校長がビジョンを作り上げるということになると思います。今各学校の校長先生が作っているビジョンの

中には、そういった地域とともにある学校という視点が入っている学校もありますし、薄い学校もありますので、その辺りのところは今後各校長にも指示しながら、ベクトルを揃えながら進めていくという、そういうふう考えております。

○**山下委員** ビジョンの策定にあたって一斉にということになると、1年目の校長先生と5年目の校長先生と差が出てきますよね。その辺、校長という枠組みではなくて少し広げるとか、地域の方を含めるとか、そういったビジョン策定みたいなことを検討されるのかどうかお伺いしたいです。

○**平塚次長** 学校経営計画等については校長先生が作るものでありますけれども、その経営計画、ビジョンについての承認をするのが学校運営協議会ということになります。これまでは学校長が作ったものをそのまま評議委員の皆様にお示しするというかたちでしたけれども、来年度からはコミュニティスクールの中の学校運営協議会のまず1回目までに校長がビジョンを示して、それについて委員の方が、うちの地域としてはこういう学校作りを地域とともに進めていきたいので、こういう部分についてもう少し付け加えたらどうかという意見を言うことができるわけでして、その運営協議会の委員の意見も反映させたビジョンにブラッシュアップさせていくという、そういうことを来年度から始めていくということになるかと思えます。

○**山下委員** 来年の4月に一斉にコミュニティスクールにできるのが理想だと思えますが、プレ会というのがもうそろそろスタートする方向性が見えてこなければいけないと思えますので、その辺各学校にチャートでこの時期にプレ会で、そろそろコミュニティスクールの運営委員の選定なりを進めてくださいというのがあるのかどうか。そういうことも進めていかないと、4月からやりましょうといってもすぐにできるものではないのかなと思っておりますので、これは意見でございます。

○**平塚次長** これも昨日の研修会で講師の先生が言われておりましたけれども、来年度4月からスタートするからといって、そんなに慌てなくていいよと。いいものを作るために時間をかけてやればいから、何年かかけてコミュニティスクールというかたちを作っていけばいいということで、そのご助言を受けて、加賀市の教育委員会としても4月1日から完璧なコミュニティスクール、運営協議会、ビジョンを作り上げるというよりも、2年3年かけて運営協議会の皆さん、あるいは地域の皆さんと一緒にビジョンというかコミュニティスクールの目標も作り、それから組織についても、最初は少ない人数から始めればいいよというアドバイスもありましたので、あまり間口を広げずに重点化、焦点化したところから少しずつ広げて、組織作り、コミュニティスクール作りを進めていきたいと考えております。校長研修会等においてはモデル校の実践事例をまた還元しながら、来年度に向けて進めていきたいと考えております。

○**山田教育長** 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは以上で第7回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。